●保護者向けリーフレット

「CBTとちまるチェック」が始まります！

令和8（2026）年3月
栃木県教育委員会

本リーフレットでは、県教育委員会が次年度から行う「CBTとちまるチェック」について御説明します。この新たな取組について、御理解と御協力をお願いいたします。



令和8年度から行う「CBTとちまるチェック」では、児童生徒の学習状況を定期的に確認（チェック）していきます。そして、教師が授業づくりについて考えたり、児童生徒が自らの学びを振り返ったりする取組の一体的な充実を図ることを通して、児童生徒の学力向上を目指します。

※ CBT（Computer Based Testing）とは、タブレット端末等を用いて問題を解き、学習状況を確認する方法のことを指します。

「CBTとちまるチェック」は、小学校5年生（国語・算数）と中学校2年生（国語・数学・英語）で行います。
4月に行う「スタートチェック」では、年度初めの学習状況を確認し、その後、7月・11月・2月には「定期チェック」を行います。





これまでの調査は紙で行っていましたが、これからは、児童生徒のタブレット端末を用いて行います。



実施方法が、紙からタブレットに変わることで、結果が早く返却されるため、児童生徒が自らの学びをすぐに振り返ることができるようになるというよさがあります。





学校では、児童生徒一人一人が進んで学習に取り組み、得意を伸ばし、苦手を克服していけるようサポートしていきます。

長期休業中には、タブレット端末を用いて「夏休み・冬休みチャレンジ」に取り組むことができますので、お子さんにお声かけをお願いします。
また、チェック対象学年の保護者の皆様を対象にアンケートも実施しますので、御協力をお願いします。



Q&Aコーナー



Q. これまでの調査とは、どのように違うのですか？

A. 「CBTとちまるチェック」では、チェック後の学びを大切にしていきます。
4月に行う「スタートチェック」の結果を見て、「できた」、「できなかった」だけで終わらせるのではなく、その後「どのように学習していくか」を考えることが大切です。
そして、次の「定期チェック」のときに、お子さんが得意を伸ばすことができているかどうか、苦手を克服することができているかどうかを一緒に確認（チェック）していただきたいと思います。

「CBTとちまるチェック」についての説明動画はこちらから御視聴ください！